基本方針１　地域産業の持続的発展に向けた企業力の強化

資料３－１

施策１　地域産業の振興

指標名	目標値
企業立地奨励補助金等の奨励指定・認定事業者の件数	32件（2021～2024年度）
企業立地奨励補助金等の奨励指定・認定事業者の件数のうち、成長分野及び研究開発施設関連	8件（2021～2024年度）
先端設備等導入計画の認定件数	120件（2021～2024年度）

施策２　投資の受皿となる産業用地の創出

指標名	目標値
産業用地創出面積	20ha（2024年度までに）
企業立地支援に係る相談件数	12件（2021～2024年度）

施策３　中小企業の経営力強化

指標名	目標値
中小企業経営力高度化事業補助金の交付件数	400件（2021～2024年度）
とよたイノベーションセンターの相談件数	2,000件（2021～2024年度）
ビジネスマッチング数	40件（2021～2024年度）

施策４　中小企業のデジタル化の促進

指標名	目標値
デジタル化促進アドバイザー派遣件数	20件（2021～2024年度）
職業訓練のコース数（豊田市主催分）	5コース（2024年度までに）
テレワーク導入支援補助金の交付件数	120件（2021～2024年度）
IT人材育成者数	80人（2021～2024年度）

主な取組み

施策	事業名	今年度取組（10月末日時点）	課題等
施策１	**企業立地奨励事業** 市内で工場や研究所を新増設する際、土地・家屋・償却資産への投資に対し、奨励金を交付する。	【企業立地奨励金】【中小企業設備投資奨励金】【創造産業立地奨励金】 ・奨励対象事業者指定・認定件数　3件（企業立地奨励金2件・創造産業立地奨励金1件） ・奨励対象事業者指定申請 受付済件数 ※4件（企業立地奨励金2件・中小企業設備投資奨励金2件） ※令和3年度第2回企業立地審査会（令和4年3月予定）にて審査 【先端設備等導入計画の認定】 ・令和3年度新規認定件数（20件）	新型コロナ禍において、これまで奨励金に関する相談を実施してきた事業者が急遽、事業計画を延期ないし見直しをする事業者がある一方、更なる事業拡大に向け投資をする事業者もあるため、金融機関やゼネコン等に状況確認や奨励金制度の紹介をしていく必要がある。 また、社会的にカーボンニュートラルへの取組が非常に重要となりつつある傾向にあるため、様々な検討を実施していく必要がある。
施策２	**産業用地整備事業** 産業誘導拠点等において、産業用地の整備及び整備推進を図る。	【産業誘導拠点における産業用地整備】 ・花本産業団地拡張事業　入居企業審査会の開催（6月）、土地売買仮契約の締結（7月）、土地売買本契約の締結・全6区画入居企業5社の決定（9月）。 ・南部地域産業用地整備事業　市街化区域編入の地元説明会（5月）、市道整備の地元説明会（9月）。	花本産業団地拡張用地の完売に伴い、市が保有する産業用地のストックがないため、新たな産業用地の確保に向けた検討が必要である。 南部地域産業用地整備事業については、来年3月の市街化区域編入に向け、関係法令に基づく適正な手続を実施していく必要がある。
施策２	**企業立地支援事業** 立地希望企業に対し、用地情報の提供、開発手続き支援、道路整備補助金の交付等の支援を行う。	【企業立地マッチング】 ・土地情報提供申請件数（4件）。 ・立地希望企業に登録不動産業者等から提供された土地の情報提供を実施。その他、立地に関する相談を受けた際に、相談に応じるとともに各種民間開発支援制度や奨励金制度の周知を実施。	登録不動産業者等から紹介を受ける用地だけではなく、積極的に当市から民間開発の可能性がある新たな候補地の掘り起こしを行い、マッチングの成功率アップを目指していく必要がある。
施策３	**経営力高度化支援事業** 中小企業の経営課題に対し、新たなパッケージ型の補助制度を創設する。	【中小企業経営力高度化事業補助金】 ・申請件数（85件）、申請金額（16,220千円） ・補助率1/2、上限額1事業につき20～30万円とし、全業種を対象に、予算額31,000千円の範囲内で通年で申請受付。	全業種を対象とした補助制度は、これまでのところ他に例がなく、一層の制度周知及び活用促進が必要である。 多様な支援策を、タイムリーに分かりやすく発信できるよう、既存の情報媒体とその運用の見直しが必要である。
施策３	**産学官金連携事業** 豊田商工会議所等の関係機関と連携し、販路開拓や事業承継、SDGs等の支援や、技術・経営相談を実施する。	【とよたイノベーションセンター運営】 ・技術・相談件数（390件） ・ビジネスマッチング数（11件） 【豊田ものづくりブランド】 ・21件申請8件認定 【とよたビジネスフェア】 ・令和4年３月10日（木）、11日（金）開催予定	とよたイノベーションセンターの支援先企業が限定されているため、コーディネート機能の拡充や、認知度向上に取り組む必要がある。
施策４	**DX促進事業** 資金的な支援とともに、専門家派遣、人材育成支援などを実施する。	【デジタル化支援補助金】 ・予算額（400,000千円）、申請件数（191件）、申請金額（291,540千円） ・製造業、建設業、運輸業を営む中小企業を対象に、デジタル技術導入に係る経費の一部（補助率1/2）を補助する制度を創設（交付申請期限　8月末）。 【デジタル化促進アドバイザー派遣】 ・9社（IoT機器貸出支援5社） 【デジタル×ものづくりカレッジ】 ・15人（月１回程度開催） 【IoT研究会】 ・10社（月１回開催）	製造現場におけるIoT導入状況として、「導入意向はない」が6割を超える（令和3年度ものづくり中小企業者基礎調査による）状況にあり、デジタル化、DX促進の必要性に対する啓発、取組意欲の喚起が必要である。

基本方針2　新たな産業を創造する基盤の構築

資料3－2

施策5　新たな事業展開・イノベーション創出の促進

指標名	目標値
新たな事業展開への取組件数	40件 （2021～2024年度）

施策6 スタートアップの誘引・誘発と事業化へ向けた支援

指標名	目標値
スタートアップ・ベンチャーへの支援件数	8件 （2021～2024年度）
重点産業分野への支援件数	8件 （2021～2024年度）

施策7　イノベーションを起こす人材の掘り起し・育成

指標名	目標値
イノベーション人材育成者数	60人 （2021～2024年度）
新たなプロダクトを創出する支援事業数	4件 （2024年度までに）

主な取組み

施策	事業名	今年度取組（10月末日時点）	課題等
施策5	**オープンイノベーション推進事業** 市内企業と開放特許等の新たな資源をマッチングさせることで、新たな事業展開を支援するとともに、新たなプロジェクトの製品化・事業化を支援するサポーターとの出会いの場を設定する。	【開放特許マッチング】 ・マッチング支援中（2社） ・知財ビジネスマッチングWS開催（12社） ・成果発表会（2月下旬予定） 【ベンチャーマッチング】 ・説明会の実施（26社・団体） ・マッチング支援中（3社） 【ピッチイベント】 ・ミニピッチイベントの開催（11月メッセナゴヤ、12月SENTAN予定） ・ピッチイベントの開催（1月予定）	既存の事業に追われ、新事業への取組に積極的な企業が限定的になっているため、裾野を広げる取組や実施方法等の見直しを行っていく必要がある。
施策6	**スタートアップ支援事業** 市内外からのスタートアップの誘引・誘発を目指し、必要となる実証フィールド等の「活動場所」、開発補助金による「資金」、提案者と支援者とのマッチング「機会」の提供等の支援を実施する。	【ものづくり創造拠点SENTAN運営】 ・登録団体数（77社・団体） 【ものづくり創造補助金】 ・12件申請中9件採択（うちスタートアップ1件） 【次世代航空モビリティ協業ネットワーク】 ・発足式の開催（会員51社・団体） ・開発報告＆提案会の開催	支援対象となるスタートアップが少ないため、誘引・誘発のための新規施策を検討するとともに、市内企業との協業を促進し、スタートアップの事業化を支援していく必要がある。。 また、コロナ禍においても登録団体間の交流を促せるように、感染症対策に配慮したSENTAN運営とする必要がある。
施策7	**イノベーション人材創出事業** 市内での起業や事業化の機運醸成を図るため、新たなプロダクトを創出できる人材の発掘・育成を実施する。	【ものづくりミライ塾】 ・塾生38名（1期8人、5期17人、6期13人） （参考）特許権取得3件 水素ガスの発生方法、ダイラタント洗浄機、おむつ除水処理機 【スタートアップ掘り起こし（ハッカソン・ビジコン等）】 ・ハッカソンの開催（12月、2月予定）	対面で実施することで高い効果を発揮する事業であるため、コロナ禍でも交流ができるように、感染症対策に配慮した実施方法とする必要がある。

基本方針3　多様な働き方で多様な人材が活躍する環境の整備

資料3－3

施策8　企業の働き方改革の推進

指標名	目標値
働き方改革アドバイザー・講師派遣件数	200件 （2021～2024年度）
はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰受賞事業所数	80事業所 （2021～2024年度）
市主催の啓発セミナー等への参加者数	600人 （2021～2024年度）
豊田市ワーク・ライフ・バランスキャンペーン賛同事業所数	400事業所 （2021～2024年度）

施策9　多様な人材の就労支援

指標名	目標値
就労支援室と女性しごとテラスの合計就職決定件数	1,680件 （2021～2024年度）
女性従業員育成定着支援プログラムへの参加事業所数	80事業所 （2021～2024年度）
セカンドライフ＆キャリア支援事業（エスプレッソ）への参加者数	200人 （2021～2024年度）
日本語教室参加者のうち、進路決定者数	96人 （2021～2024年度）

施策10　将来の地域産業を担う人材の確保

指標名	目標値
担い手確保支援事業への参加事業所数	200事業所 （2021～2024年度）
担い手確保支援事業への参加者数（学生・求職者等）	200人 （2021～2024年度）

主な取組み

施策	事業名	今年度取組（10月末日時点）	課題等
施策8	**働き方改革推進事業** アドバイザー派遣の実施や、企業経営者等へのセミナー、優良事業所表彰などによる意識啓発等に取り組む。	【事業所訪問】 ・訪問件数（19件） 【働き方改革アドバイザー・講師派遣】 ・アドバイザー・講師派遣（44件、20事業所） 【はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰】 ・39事業所応募、28事業所受賞 【啓発セミナー・研修】 ・開催数（2件、12月に1件開催予定）、参加者数（69人）	表彰制度が浸透しつつあり、応募事業所数が大幅に増加する中、選考過程における公平性を確保しつつ、選考事務の効率化を図る必要がある。 同様に、アドバイザー・講師派遣の活用も増加しており、事業所とアドバイザーのマッチング、謝礼支払いなどの事務の簡素化、効率化が課題。
施策9	**就労支援事業** 「就労支援室」や「女性しごとテラスカプチーノ」を核に、若年者、中高年齢者、女性、定住外国人等に対する就労支援を拡充する。	【女性しごとテラス運営】 ・セミナー参加者数（442人）、相談件数（586件）、就職決定件数（106件） 【女性従業員の育成・定着支援】 ・17社参加（受講者数延べ118人） 【女性起業家支援】 ・相談会、セミナー（12人参加）、ビジネスコンテスト（31件応募）を実施。 【中高年齢者活躍支援】 ・エスプレッソ（個別相談、セミナー等）参加者数（74人） ・求人開拓のための企業訪問、企業とシニアの交流会、見学会を開催。 【就労支援室運営】 ・相談件数（2,670件）、就職決定件数（150件） 【定住外国人就労支援】 ・日本語教室（初級・中級）受講者数（68人）	働き方に対するニーズの多様化を受け、女性の就労支援において、雇用マッチングのみならず、起業家と中小企業のビジネスマッチングなどの起業支援、自営型テレワークの提案、働くことへの関心意欲の醸成など、幅広な対応が求められる。 高齢の定住外国人に対する就労支援や、働きたい中高年齢者と求人企業がシニア人材に求める条件、ニーズとのギャップ解消、求職者に対するデジタルスキル習得支援などの多様な課題に対応するための支援力の強化が必要である。 求人企業がデジタル人材に求めるスキルレベルの把握と、スキル習得に必要な訓練プログラムの実施が必要である。
施策10	**地域産業の担い手確保支援事業** 地域産業の活性化に不可欠な担い手確保のため、求められる人材の育成とともに、多様な人材と中小企業のマッチングを支援する。	【副業・兼業人材とのマッチング支援】 ・副業・プロボノ人材活用プログラム開始（10者参加）。 ・専用サイトに登録した副業人材と、トヨタ自動車プロボノ人材とのマッチングを支援。 【中小企業魅力発信】 ・高校生対象ハイブリッド型中小企業魅力発信事業の実施（7校参加、23社参加、動画作成12社予定、ワークショップ「フルクエ」15人参加）。 ・とよたの先輩名鑑の発行(11社掲載、2月末完成予定)。 ・ハイブリッド型企業研究イベントの実施（12月開催、10社参加予定）。 ・とよたビジネスフェアにおける高校生対象ブース見学ツアーの実施（4校参加予定）	オープンファクトリー（中学生等が働く現場や働く人に出会い、交流するためのイベント）の実施に向けた、参加企業の発掘、調整をはじめ、事業立ち上げの準備が必要。 中小企業魅力発信において、高校生、大学生に届く情報発信ツールの活用や、教員やキャリアセンターと連携強化が必要。 建設業など、特に人材確保に課題を抱える業種において、事業者、業界団体等による人材確保や育成に向けた主体的な取組意欲の喚起、求職者にとって魅力あるイベントの企画立案に課題がある。